

コロナ対策事業実施の評価は

きめ細かい対応をしていくことが重要である。

問 実施事業の評価と課題は。
答 店舗・事業所への感染拡大防止支援事業により、クラスター発生防止につながった。プレミアム付き商品券発行事業、農産物応援事業、住宅リフォーム事業などの取り組みによる経済効果は全体で5億3000万円程度と試算している。国の緊急小口資金貸し付け、住宅確保給付金、市独自の生活応援資金貸付金、光熱水費給付金事業などの生活支援の活用件数は、昨年12月末までで延べ994件、合計1億9500万円の給付や貸し付けを行い、セーフティネットとしての機能を果たしてきた。今後の課題として、経営の苦しい事業所や生活困窮者の中には関係機関への相談のないまま耐えている方もいると思われ、現状を少しでも多く把握し、より

コロナ対策予算の財源内訳は

問 令和2年度に計上した11.2億円の財政プレミアムは。
答 国の交付金103億2500万円余、県の交付金1億4500万円余、その他寄付金などを含め104億円余となった。一方、市が負担した財源は7億1000万円余である。国・県の臨時交付金を最大限活用し、市負担の抑制を図っていく。



市実施の地域経済活性化事業

平和行政と記念碑

問 活人剣碑や護国塔、浅羽喜太郎公記念碑など戦争に関する史跡が遺されてきたが、市長の思いは。
答 それぞれの記念碑は、戦争犠牲者の慰霊と隣国との友好関係を後世に伝えるための先人の事跡であり、戦争という悲惨な歴史を二度と繰り返してはならないという思いを強く想起させるものである。今後引き続き周囲に伝えていくことが責務と考えている。

問 市内に残る忠魂碑への市長の思いは。
答 終戦記念日には現在の平和と繁栄、私たちが暮らす自然豊かな郷土が戦没者の尊い犠牲の上に築かれていることを忘れることのないよう、思いを新たにしている。地域にある忠魂碑は、今後、少し時間をかけ調査していきたい。



忠魂碑での慰霊祭

市内橋梁の維持管理

問 宮ノ越橋の管理状況はどうか。
答 市内には2メートル以上の橋梁が917橋あり、県のマニュアルに沿って点検している。宮ノ越橋は早期に措置を講ずべき状態になったため、令和6年度までに修繕をしていく。また、旧秋葉線ルートとして歩行者に楽しんでもらうため、看板の設置も検討したい。

治水対策事業の取り組みは

問 田町幹線排水路事業の方針は。
答 市計画道路村松山科線から北側の区間は、磐田用水東部土地改良区が所管する用水路と分離する必要があること、住宅やアパートの建築が進み、用地確保が極めて難しいことを踏まえ、排水路のルート選定については、道路敷地の利用や、新たな用地の取得も含め、関係者と綿密な協議をしながら進めていく。

問 久能第二都市下水路改修事業の今後の予定は。
答 可睡斎東側付近から旭町地先までの排水路の整備は、第2次袋井市河川等整備計画を策定中であり、排水路の勾配や断面を確認し土地の利用状況などを踏まえ検証している。整備を実施する時期は令和3年度に取りまとめている。

子育て支援の考え方は

問 認可保育所、小規模保育の令和3年度待機児童の改善は。
答 浅羽東幼稚園と若草幼稚園の認定こども園への移行などにより利用定員数を312人増やし、1974人とした。また各園に対して、定員の2割まで超過して受け入れができる弾力的運用を図り、ニーズが多い1・2歳児について、鋭意入所調整を図っている。



若葉幼稚園